

1. **室内機**は水平に取り付け、ドレン側が絶対に高くないこと
2. **ボードアンカー**(傘式・金属製)の打つ数は、メーカー仕様に準ずること（最低6発）
3. **アース線**は白色で、**電源コード**にインシュロック(白色)で数か所を括り、内機の上側にコンセントがある際は内機上側から直接入れ施工
4. **スリムダクト**で勾配をとる
(ダクト内で勾配をとっているのは不可)
5. **貫通部**は、換気した際に空気を吸って結露しないように、パテにて穴埋めをきっちりと行うこと
6. **屋外のビス止め**は、ドブづけは不可とし、すべてSUS製を使用する
7. **屋外の雨がかりにならないところ**は、コーキングしない
(指摘が上げれば相談し施工)
8. **屋外スリムダクト**の端末カバーは取り付けない
(エアカットバルブを操作するため)
9. **エアークットバルブ**は、お客様が自身で清掃しやすいように、室外機上辺りに設置する
10. **エアークットバルブ**の1次側は、ドレンホースをしっかり押し込んでからピン止め固定すること
(テープ巻はしない) ←ヴェルデ仕様
11. **エアークットバルブ**は、ドレン管（VP20にドレンフキを50～100mm程度）に差し込みテープ巻なしとする
お客様が抜き出し、振り回して掃除ができるように
12. **バルコニードレン配管**の支持材は、ビスうち不可
ポリプロピレン用のボンドを使用する事(例：GPクリヤー)
13. **室外機**床置きの際でも下部ドレンを取り付けること
14. **ドレンの先**には、エルボをつけず、溝縁から10～15mm出す